

平成23年度 第3回小平市公民館運営審議会 会議要録

- 1 開催日時 平成23年7月12日(火) 13:30~15:30
- 2 開催場所 小平市中央公民館 会議室
- 3 出席者 小平市公民館運営審議会委員 9名(欠席2名)
事務局 中央公民館長、館長補佐、分館主査9名(欠席1名)
- 4 傍聴者 0名
- 5 配布資料 (1) 平成23年7月1日付人事異動・・・・・・・・・・資料1
(2) 仲町公民館・仲町図書館の基本設計平面図・・・・・・・・・・資料2
(3) 平成23年度小平市公民館定期講座実施状況表・・・・・・・・・・資料3
(4) 行事等開催報告・・・・・・・・・・資料4
(5) 行事等開催結果報告・・・・・・・・・・資料5
(6) 関東甲信越静公民館・社会教育合同研究大会茨城大会の開催について(写し)・・・・・・・・・・資料6
(7) 平成23年度東京都公民館連絡協議会委員部会第1回(5月定例会)運営委員会記録・・・・・・・・・・資料7
その他:「節電行動計画」
- 6 次第 (1) 開会
(2) 配布資料の確認
(3) 館長報告
(4) 平成23年度定期講座について(資料3、4)
(5) 事業報告〈公民館まつり、講演会等報告〉(資料5)
(6) 平成23年度第1回東京都公民館連絡協議会役員会担当委員からの報告〈各部会活動、第49回東京都公民館研究大会等の報告〉
(7) 平成23年度第2回委員部会運営委員会(定例会)報告
(8) 平成23年度東京都公民館連絡協議会課題別研修参加委員からの報告
(9) 第52回関東甲信越静公民館研究大会茨城大会について(資料6)
(10) その他
(11) 閉会

会議の概要

1 開会

2 配布資料の確認

3 館長報告

(1) 節電行動計画について（資料「節電行動計画」より説明）

(2) 議会について

市議会 6 月定例会（6 月 7 日～29 日）が開催された。一般質問は、教育委員会関係のものが 14 人の委員から 23 件あったが、公民館に関するものはなかった。

(3) 仲町公民館・仲町図書館改築に伴う基本設計について

これまでの経過を含めて報告する。平成 22 年 6 月に、改築に係る方針案を作成し、パブリックコメントを実施した。7 月には、これらの意見を慎重に検討し、基本設計業者として、「株式会社妹島和世設計建設事務所」を選定した。12 月には、住民説明会を 3 回実施した。ここでの市民の意見を反映し、まとめた基本設計について、3 月の住民説明会で報告した。

（基本設計の詳細については、資料 2 より説明）

(4) 公民館まつりについて

公民館としては、今回の公民館まつりを、サークルの発表の場であると同時に、被災地支援につながるイベントとして開催したいと考えた。実際に、相当額の募金が集まり、成果発表に加え、関係団体の協力による防災に関する展示、実演を通じて啓発にも力を入れた。

成果発表中心の内輪になりがちな「公民館まつり」から、今回、「地域のまつり」へとシフトし、それにより、地域の連携が一層強まった。また、市民が身近な公民館のイベントを通して、被災地支援に加わることができたということに、公民館で実施することの意義を見出せた。

事業においても、震災関係のものを実施しており、公民館の取り組みも長く続ける必要があると考えている。

（質疑応答）

委員 仲町公民館・仲町図書館の基本設計について、障がいを持つ方が大変心配されていて、多くの意見をいただく。再度意見を聞くことを検討しているか。

事務局 3月4日に、周辺住民、障がい者の方も含め、集まっていただき、意見をいただいた。基本設計は建物の配置等を図に落とすもので、実施設計については、先月後半にスタートした。バリアフリーやユニバーサルデザインについては、この実施設計の中で検討していく。今後も機会を設け、意見を伺っていきたい。

委員 バリアフリーやユニバーサルデザインは全市民にプラスになる。障がい者団体以外の方の意見も聞き、綿密に調整してほしい。

委員 耐震や避難場所としての設備に不安のある施設がある。春の公民館まつりは、被災地支援、防災をうたっていたが、秋の場合も同様に行うのか。避難場所として、市民に集まってくださいと言えるのか。

事務局 地域防災計画で、公民館は避難所として指定されているが、これは民家倒壊等の場合に、応急的な保護を受けられる場所であるが、食料等の備蓄はない。備蓄は定められた場所にあり、そこから送致されることになっている。職員の役割についても、地域防災計画に記載されている。

4 平成23年度定期講座について

資料3、4より説明。

夏休み学習室を8月2日（火）から31日（水）まで開放する。節電への協力が必要とされている折、市民が一カ所に集まり、公民館の涼しい環境を利用していただきたい。

真夏の音楽会は、「ザ・ビートピアがやってくる ビートルズサウンドで元気を出そう！」という題目で、ビートルズのコピーバンド「ザ・ビートピア」が出演する。当日は混雑が予想されるため、細心の注意を払って取り組みたい。

「国際協力プロジェクト」は、全20回の長い講座で、8月に受講生がイベントを開催する。このイベントで回収されたCDや本は、寄付されるので、多くの方にご協力願いたい。

（質疑応答）

委員 夏休み学習室について、公民館が家より学習しやすいと言えるような工夫がほ

しい。利用してほしいという気持ちが表れる中身でないと、人は集まらないのではないか。

事務局 節電のため、家庭でも、エアコンや照明を消す等、多大な影響がある時だからこそ、公共の施設を利用してほしい。場所の提供は重要だと考えている。

5 事業報告

資料5より説明。

上宿公民館と花小金井南公民館のチャリティーイベント（公民館まつり）が無事終了した。防災や被災地支援については、多くの方の協力を得ることができ、募金やバザーの売り上げ等を義援金として寄付した。

タイムリー講演会は、世界化学年にちなみ、昨年来ニュースで話題となっているレアアースと日本の産業のつながり、レアアースをめぐる動き、今後の動向等についての講演を行った。

（質疑応答）

委員 今後、上宿公民館のまつりの時期をずらすことは可能か。今回、小学校のクラブへの出演依頼があったが、5月だと、クラブ活動が始まって間もないので、十分な準備ができない。終了した現段階で、来年度のイベントについて考え、学校にも周知してほしい。上宿公民館の青小対としても、公民館まつりに貢献したい。

事務局 サークルの成果発表だけでなく、地域とのつながりも大切にしなければならないと考えているので、日程調整はしていきたい。

委員 花小金井南公民館の来場者数の伸びがすばらしい。一番効果的だったのは何か。

事務局 「東日本大震災被災者へ心を寄せよう」というタイトルに変え、ポスターを地域に配布したことではないか。また、例年のバザーに、被災地支援に協力したい方が関心を持ち、地域の人とのつながりができた。公民館まつりは、友の会や長く活動している方が中心となつてつくってきたが、今年は、幅広く多くの団体に声をかけたことで、地域でも話題にしてもらうことができた。また、子どもたちが多く参加したことで、その保護者も一緒に参加し、地域の連携が密になった。

委員 花小金井南公民館は、館長に声かけしていただき、友の会を中心に年配者が多かった運営側に、今年は新しい方が60～70名参加した。年配者から若者にバトンタッチしていかないと、まつりは発展していかないのではないかと。

6 平成23年度第1回東京都公民館連絡協議会役員会担当委員からの報告

開催日時 平成23年5月20日

報告事項 ・平成23年度東京都公民館連絡協議会事務の役割分担
・第49回東京都公民館研究大会各分科会について
(平成23年度テーマ「ホームページの活用(仮)」)

7 平成23年度第2回委員会運営委員会(定例会)報告

開催日時 平成23年6月24日

報告事項 ・平成23年度東京都公民館連絡協議会全体会及び第1回研修会
役割とタイムスケジュール
・平成23年度東京都公民館連絡協議会第2回研修会について

8 平成23年度東京都公民館連絡協議会課題別研修参加委員からの報告

開催日時 平成23年6月29日

講演テーマ 「文部科学省の公民館施策から」

内容 文部科学省からみた公民館を取り巻く現状・今後の施策と課題
(全国の公民館の動き、公民館海援隊、公民館の可能性)

講師 神代 浩 氏 (元・文部科学省生涯学習政策局社会教育課長
現・国立教育施策研究所 教育課程研究センター長)

講演を受けての話し合い

テーマ 「大震災 被災地のために公民館は何ができるのか？」

9 第52回関東甲信越静公民館研究大会茨城大会について

資料6より説明。

開催日時 平成23年11月18日

開催場所 茨城県つくば市ノバホール

10 その他

11 閉会

次回は、9月13日（火） 13：30 から開催する。